

# 英語を楽しく

☆ややこしいけれども、覚えておくと便利な「not と never」

- a) I called him, but he was not at home.
- b) I called him several times, but he was never at home.
- a) 彼に電話をしたが、家にいなかった。
- b) 何回か電話したが、彼はいつも家にいなかった。

a)は単に「その時、家にいなかった」ということに対し、b)は never もともと not + ever の意味で、否定の状態が不特定の期間に及ぶことを表し、「家にいなかった」状態が続いていることとなります。

## ○ ever でつくる熟語

as ... as ever 相変わらず...

ever since その後ずっと

as ever 相変わらず

for ever いつまでも

以上の熟語から推測すると、

never = not ever = 相変わらず...でない → He was never at home.  
は「彼は相変わらず家にいなかった。」→「いつも家にいなかった。」となるのですね。

I have never been to San Francisco.の文は、  
サンフランシスコに「相変わらず行ったことがない」→「いつも行ったことがない」  
→「行ったことがない」

I have never been to San Francisco.を分解すると

I have +

((I never been) I was never to San Francisco.サンフランシスコには相  
変わらずいなかった。)という事実を I have (私は持っている)  
つまり、サンフランシスコに行ったことがないということです。

日本語では「完了形」で never の着く文には『一度も』という言葉をよく付けて訳しますが、「～したことがない」という訳から考えてもそれがなくても十分です。

しかし、英語では never がなければ全く意味が違ってくのですね。

日本語から英語にするときには「never」を忘れないようにしましょう。

